

— 日立市 —

これまでの仕事を振り返って

1. はじめに

私は、平成29年度に土木技術職として、日立市役所に入所した。平成29年度から3年間道路建設課で道路の設計・監督に携わった。現在は、茨城県土木部高萩工事事務所へ派遣され、道路の設計・監督や事業の調整に携わっている。本稿では、これまでの経験や現在の出向先である高萩工事事務所での業務、そして土木技術職としての今後の展望について述べてみたい。

2. これまでの仕事について

1) 入庁後

入庁し3年間道路建設課に所属し道路工事の設計・監督を行い道路事業に携わった。初めのころは業務について何から手をつけていいのかわからず、とても不安であったことを覚えている。他にも市民への説明など、道路事業について知識が無い方に理解してもらえるよう説明することの難しさを経験し、土木の知識だけではやっていけない厳しさを実感した。そのような中で、市民の方から感謝の言葉をいただき、とてもうれしかったのを覚えている。公務員として、責任や仕事のやりがいを見つけることができた、とても充実した期間であった。



職場のチームでリレーマラソンに参加した時の様子
(上段1番左側が筆者)

2) 茨城県高萩工事事務所への出向

現在は茨城県高萩工事事務所へ出向しており、県

道日立いわき線砂沢バイパス事業に携わっている。具体的には道路改良工事の設計・監督だが、市では経験できない規模の事業であり、毎日が勉強でとても充実した毎日を過ごしている。中でも、請負業者やコンサルのレベルの高さには驚かされるばかりで、擁壁工については予期せぬ事態に陥り工法の変更を余儀なくされ、難工事となった現場もあったが、業者の努力やコンサルの手助けがあり、無事工期を伸ばすことなく現場を収めることが出来たのは良い経験となった。



日立いわき線区間（供用開始前）を眺める様子

3. おわりに

これまで、さまざまな業務の担当をしてきたが、日々の業務を遂行する中で、自分には知識や経験がまだまだ足りないと痛感する場面があり、その都度上司や業者の方に助けてもらっている。これからは自分が周りにしてもらったように、後輩職員の手助けができるような職員となるため日々精進していきたい。

また、現在出向している高萩工事事務所での残りの研修期間についても、技術力や多方面に渡る視野、経験を積み充実したものになりたい。さらに事務所だけでなく、本庁、関係各所との交流を通じて、リレーマラソンのように「きずな」を大事にし、日立市に戻ったあとも業務に生かしたい。

日立市 都市建設部 道路建設課 森嶋 啓介